

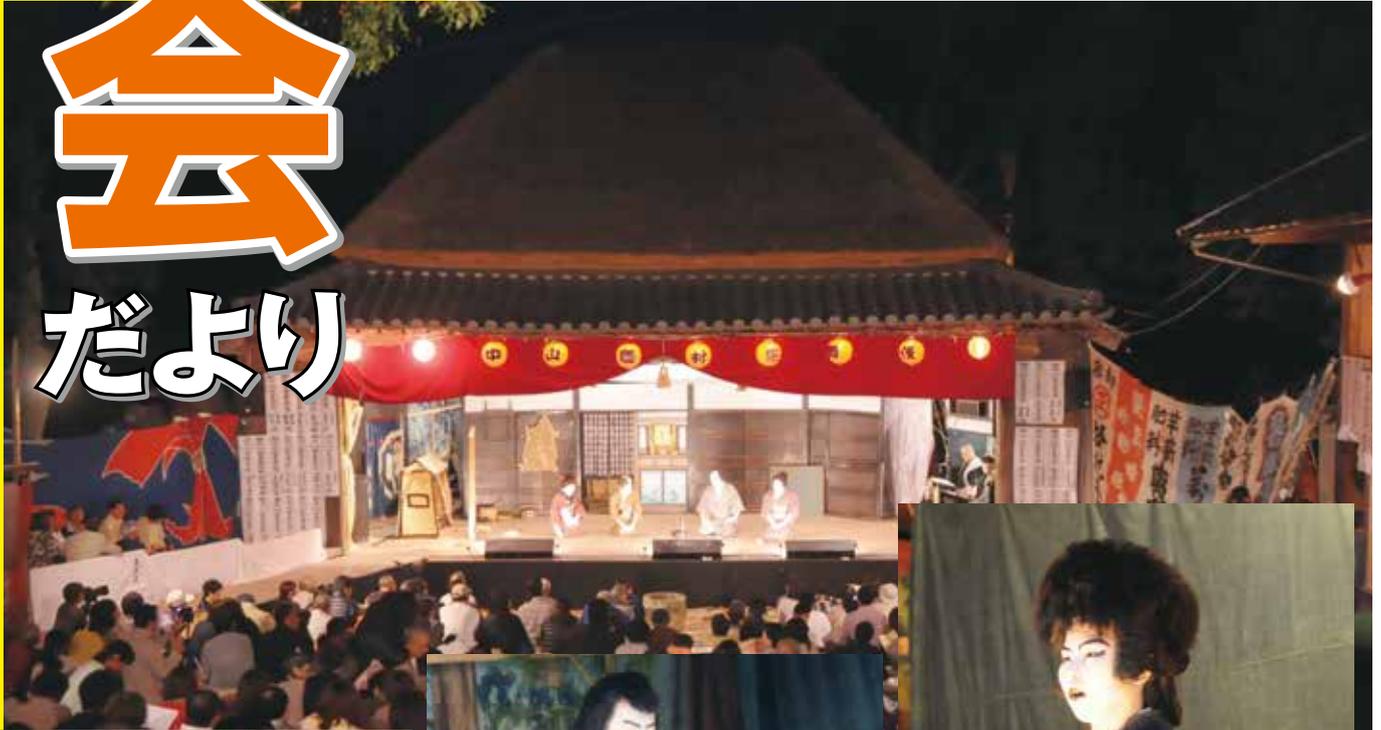
議 会 だより



小豆島町

No. 30

平成25年 11月 1日 発行



秋の深まりの中で、ぬくもりを感じる

中山春日神社奉納歌舞伎、子供芸役者の名演

- 審議議案
一般会計補正予算など 2
- 一般質問
9名の議員が質問 4
- 中学生議会
17名の中学生議員が質問 9
- 住民の声・まちの力 10

議員定数を16人から14人に



9月 定例会

9月定例会が9月18日、19日に開催され、平成25年度の補正予算議案が4件、オリーブバスへの職員派遣に伴う条例制定議案を含めた新規条例案2件、契約案件が1件、報告案件が7件の計14議案が提案され、それぞれ賛成多数で可決しました。また、平成24年度の決算認定議案は閉会中に特別委員会で審議されることとなりました。

また、議員の定数を削減する議案が議員から提出され、賛成多数で可決されました。これにより、次回の選挙からは、議員定数が2名削減され14名となります。

一般会計

追加補正予算額 5億5,021万1千円

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第3号)

追加補正予算額は5億5,021万1千円と大きな額ですが、このうち3億1千万を減債基金(町の借金の返済の増加に備えるために積み立てる基金)に積み立てます。

その他の主な内容は左記のとおりです。

総務費関係

防災拠点太陽光発電設備設置工事等
4,365万9千円

災害時の非常用電力として活用するため、

町内の防災拠点施設に太陽光発電システムを整備するものです。平成25年度は池田保健センター、蒲生・西村公民館に設置されます。

質疑応答

Q どれだけの電気を発生させるのか

A 15KWの予定であり、緊急時の使用分としては申し分ない。



内海病院跡地利用

調査業務委託料
705万6千円

内海病院を役場庁舎として使おうとした場合に掛かる経費等を調査するための費用です。

質疑応答

Q 調査の内容は病院の全体を調べるのか。それとも庁舎部分に該当しそうな箇所のみ調べるのか。

A 建物全体を調べる。

衛生費関係

グループホーム
建設工事等
7,536万9千円

二生幼稚園を改修し、知的障害者用グループホームを建設するための工事費等です。

電気自動車用充電

設備設置工事等
3,854万5千円

経済産業省の補助事業を活用して町内9カ所に電気自動車用の充



新病院建設後の内海病院は？



各地に整備される充電設備

電器を設置する工事等です。

設置場所は池田、草壁、坂手、福田の各港、ふるさと村、映画村、寒霞溪山頂ロープウェイ乗り場、町役場池田庁舎、内海庁舎です。

質疑応答

Q電気自動車の充電設備を町内各地に増やすが、これは観光業の振興目的か。

A電気自動車の普及、利用促進のため、充電設備を増やしており、直接観光業のためではない。

Q充電するのに使用料をとるのか。

Aまず電気自動車の普及を目的としているので、無償で提供する予定である。

農林水産業費関係

鳥獣捕獲器具購入費 90万円

猿・猪を捕まえるための捕獲器10台を購入するものです。



町内に広がる猪被害を防ぐ

質疑応答

Q現在島にいるイノシシの数の推計は。

A本格的に調査しておらず推測だが1,000頭以上は生息していると思われる。

商工費関係

映画「魔女の宅急便」

セット移築工事等 2,120万円

来年春公開される映画「魔女の宅急便」で使用されたセットをオリーブ公園内ハーブ

ガーデン北側に移築するものです。

質疑応答

Qこういった建物になり、どのように活用されるのか。

A映画内でパン屋として使われていた建物で、実際パン屋やガーデンショップ等として活用したい。木造平屋建で延床42㎡ほどの建物になる。



映画セットがオリーブ公園に

工事請負契約

工事名

みさき園大規模

改修工事

契約金額

5億1,450万円

契約の相手

㈱クリタス西日本支社

(大阪府)

質疑応答

Q工事には地元業者を使うようお願いしたいがどうか。

A今後の業者との話し合いの中で調整したい。

条例制定

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例について

町が出資する小豆島オリーブバス(株)に職員を派遣するために、必要な条例を整備したものである。

質疑応答

Q派遣される職員の給与はどうなるのか

A現在、オリーブバスの役員報酬はゼロのため、派遣した職員には、現在の給与から額が下がることのないよう、2町から負担金として支出する予定である。

Q9月半ば(9月18日)

になるというのに10月1日から誰が行くのか決まっていないのか。
A現在協議調整中である。



交通弱者を守るために

町職員の給与の臨時特例に関する条例について

国家公務員の給与削減に伴い、地方公務員においても国と同レベルとするよう国からの指導があり、周辺市町との均衡を考え、給与減額をするものです。

質疑応答

Q6月時点では反対であったものが、今回はなぜ賛成なのか。組合との協議は。

A労働基準法とも照らしながら、組合とは十分に協議を行い、理解していただいた。

当初反対であったが、県からの情報では、給与削減しない場合、国からのペナルティが課せられ、負担増分を町民に転嫁せざるえない状況になる恐れもあったため今回の給与削減に踏み切った。
Qいつまで減額されるのか。

A来年の3月末までで、4月になれば元に戻る。

議員発議

町議会議員定数条例の一部改正について
町議会議員定数について、次回選挙から16人から14人にするものです。

質疑応答

Q提案理由として少数精鋭の議会を目指すところがあるが、人数が減ってしまうと、より民意が

報告

健全化判断比率

5年連続で改善



届きにくくなる。定数削減するとうい結論に至ったというが、どこで結論に達したのか。A人数が少なくなっても、それは各議員のやる気でカバーできる。定数削減の結論は議会活性化特別委員会で、各委員の意見も聞き、十分に議論を尽くし出したものである。

道州制導入に反対する意見書の提出

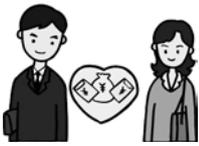
国が進めようとしている道州制に対し、小豆島町議会は「反対」する意見書を提出しました。

委員会活動報告

庁舎問題特別委員会 平成25年9月9日委員会を開催し、町役場を新たに建設する場合の候補地から、池田中学校を外し、新たに内海病院を候補地に加えることを了解しました。

財政健全化法に基づく健全化判断比率の4指標と、簡易水道事業・上水道事業・介護老人保健施設事業・病院事業会計での資金不足比率が公開され、いずれの数字も問題ない報告がされました。

現在の小豆島町の財政状況は「健全」ですが、今後、新病院建設やし尿処理施設の改修など大規模事業が控え、また内海病院や小豆島高校の跡地利用、庁舎整備など動き出すと大きな財政支出が予想される事業が続き、決して楽観できない状況にあります。



(表1)

健全化判断比率	平成24年度	H23	H22	H21	H20	早期健全化基準
実質赤字比率	—%	—%	—%	—%	—%	14.68%
連結実質赤字比率	—%	—%	—%	—%	—%	19.68%
実質公債費比率	6.5%	7.6%	9.5%	11.8%	14.0%	25.0%
将来負担比率	—%	—%	—%	—%	7.1%	350.0%

※赤字(資金不足)額がないものは該当なしのため「—」

一般質問

鳥獣害対策は

町「全ての地区で対策を行うよう協力をお願いしたい」



森口 久士 議員

質問 イノシシ対策は、安田古郷地区で防護柵の設置。また、くくりわな・箱わななど猟友会をはじめ、色々な方々の協力を得ながら、努力・対応しているが、これまで以上の早急な対応が必要では。

答弁 国県のメニューはきちんと実行することは当然として、町単独でありとあらゆることをこれからやっていかねばならない。対策の基本は捕獲と防護と環境づくりであり、地域ぐるみの取り組みが重要である。全体的に、専門の係を検討する。



安田古郷地区に設置された防護柵

公共施設の対応は 町「耐震診断の前に、社会教育施設の整備計画を検討していく」

質問 昭和56年以前の建築である内海体育館をはじめ、公民館など社会教育関係の施設は数多くある。災害時には、避難場所となる施設もある。公共施設の耐震対策など、今後どのような計画か。

答弁 昭和56年以前の基準の公民館は二生・草壁・安田・苗羽の4館、うち二生・草壁・安田の3館が避難所の指定。内海・B&G・福田の3体育館は避難所の指定なし。建築物の耐震改修の促進に関する法律に規定する耐震診断の努力義務の範囲でない。二生公民館は改修に備えて耐震診断を実施する。耐震診断を行う以前に社会教育関連施設をどのように整備していくのか総合的に検討していく。

質問 県が巨大地震被害想定を示したが、行政と住民が連携し、少ない被害で済むようにしなければならぬ。そこで

①分庁舎方式のため、災害対策本部機能が十分発揮できるのか。

②備蓄量はどこにどれだけあるのか。



町民参加の防災訓練

巨大地震に対する対応は十分か

町「町としての対応はもちろん、町民の方にも関心をもっていただきたい」



植松勝太郎 議員

③津波が3・7mと予想され、消防車が現場に行けるのか。

④耐震診断9万円、改修90万円では改修が足りない。そこで町独自の補助率を上げる計画はないのか。

答弁 ①本部機能を保健センターに移し、情報ネットワークを使って最大限努力する。本部長である町長は必ず登庁する。

②片城の倉庫に米1,500食、水1,080リットル、毛布560枚で、十分ではないので適正な備蓄量を設定

し、備蓄場所も検討する。家庭でもお願いしたい。

③消防署員、消防団員の身の安全を優先すべきだ。消防署員、消防団員の移動の制限に対する補完措置など作成作業に入っているハザードマップを参考に、防災対策に活用したい。

④診断費用は約10万円で、改修には120万、200万円の費用が必要だ。補助制度の内容を検討し、この制度が周知徹底され、一層の活用が図られるよう取り組んでいく。

質問 11月4日に芸術祭は終了するが、この芸術祭を一過性のイベントとして捉えているのか、永続的な地域おこしとして考えているのか、作品や施設を今後どのように活用するのか。また、芸術祭の捉え方に温度差があるのではないか。

瀬戸内国際芸術祭以降について

町「地域おこしのきっかけとして持続的に取り組む」



谷 康男 議員

答弁 芸術祭については、一過性のイベントではなく、地域おこしのきっかけとして持続的に取り組んでいくべきものと考えている。秋会期が終わるまでにそれぞれの地区についてこうしたいということとをまとめて発表した。

芸術祭の理解については、アートを楽しんでもらうことは当然として、地域の人が自分たちの地域の魅力を再発見し自分たちの力でまちおこしをすることが最大の狙いであり、



スターアンダー下で盆踊り

できるだけ多くの住民に参加してもらい、理解いただけるように地道にやっていく。

町の特色ある教育として英会話教育を町「日常英会話ができる子どもを育成したい」

質問 町として義務教育が終わる段階で日常英会話ができるような教育はできないか。

答弁 本町の子どもたちが英語に親しみ、日

常英会話ができる子どもを育成していきたいと考えている。





村上 久美 議員

町づくりの土台として

公共交通整備を図るべきでは

町「課題は多いが新しい公共交通体系を作りたい」

質問 全国の買い物難民は900万人と言われ生存権にかかわる極めて深刻な問題が浮上している。小豆島でも相当増えているのでは。この点から、最優先して取り組む課題であるし、公共交通はあらゆる施策分野に共通した土台となるインフラである。安くて利用しやすい公共交通整備によって、生活が充足できるまち・地域づくりを進める必要があるのでは。オリーブバスの補助金不正受給問題からも、公共交通の抜本的見直しをどのようにするのか。

答弁 提案の内容で1日も早く実現したいが、島全体の交通体系

町「避難場所の見直しなど住民の意見を聞きながら進めている」

質問 6月開催の防災会議での南海トラフ巨大地震に対応した防災計画の見直しの進捗状況や決定は。

答弁 防災会議では、避難場所の見直しや津波浸水被害のハザードマップを作成し、ホームページの掲載や各戸への配布を予定。

海抜表示は、町道施設に設置し始め、主に公共施設に設置を進める。今後、各地区の意見を聞きながら、設置個所の増設を行いたい。

各自治会の防災計画や避難訓練の取り組みの向上支援については、今年度、地域防災訓練支援事業を創設した。さらに、防災情報の提供などを行っていく。

防災の啓発については、町広報に建物の耐震化や家具類の転倒防止策を推進する啓発を積極的に努めていく。



防災訓練での起震車体験



鍋谷真由美 議員

まちづくり支援事業の取り組みは

町「試行錯誤の中で良いものが育っている」

風疹予防接種への助成を

町「来年度実施を目指す」

質問 全国で風疹が大流行する中、心疾患などの先天性風疹症候群を予防するため、免疫がない人の予防接種の助成を。

答弁 町単独でも来年度実施をめざす。

町「島が元気になる兆しが出てきている」

質問 多額の推進事業費が計上された瀬戸内国際芸術祭の夏会期が終了、現時点での成果は。空で走るバスや仕事に支障をきたす住民・町職員の動員など問題ではないか。

答弁 小豆島全体が元気になる兆しが出てい

質問 平成22年から始まり、福祉、生涯学習、子育て応援と拡大されてきた協働のまちづくり支援事業の取り組み状況と問題点、今後の考え方は。

答弁 4年間で延べ152団体に約3千500万円余りを交付した。新たに団体を組織し、事業に取り組むなどの支援につなが

子ども医療費無料化を通院へ拡大を

町「現時点では考えていない」

質問 子育て応援のまちづくりとして、また、早期治療のためにも中卒までの通院への無料化の拡大を。

答弁 検討すべき課題ではあるが、現時点では、考えていない。



みんなで子育て (海と山のしましま幼稚園)



安井 信之 議員

芸術祭以降 地域の取り組みについて

町「地域の芽を大きく 育てていきたい」

質問 今回の芸術祭を契機にして生まれた各地域での取り組みの芽を今後どう大きく育てていくのか。

答弁 小さな芽を摘み取るのではなく、大きく育てるといふことが課題である。
芸術祭期間中に、各地域で自発的にお接待をしたり、道案内をし

たり、芸術家と交流したり、色々な新しい芽が出て地域が元気を取り戻しつつ小豆島の魅力を発信できている。また、芸術祭の機会と
いうか、小豆島の魅力が高まって、若者の移住が前年度に比べて、増えており、それを大きく育てていきたい。

教師に対する指導教育について

町「より深く指導が徹底できるようにする」

質問 町内の小学校において保護者から、教師の指導に対する抗議があった。改善策として教師に対する指導教育を行うとのことだが、全部の学校で考えていく問題と思うが。

答弁 学校は子どもにとって安心・安全な場所であり、楽しく生活できる場所でなければならぬ。
授業中における不正行為等の未然防止と早



コンテナに貼られた壁画 (中山)

システム化して応援する形を、来年度予算に盛り込みたい。

期発見のために、管理職により校内巡視を行い、教師の指導の様子や学級の様子を本町教育委員会に報告するよう指示している。
特別支援教育コーディネーターを中心として、校内研修を行っている。県教委の主催である研修会、町としても研修会等を実施して、より深く指導が徹底できるように図っていききたい。



中江 正 議員

瀬戸内海の復権 「意見交換」の決意は

町「意見交換の意義はあった。 今後も様々な方法で呼びかけていく」

質問 19自治体に参加した瀬戸内海の復権と題した意見交換会は、航路を持つ自治体のトップが参加し、四国内・海のネットワーク協議会なども参加し開催された。

海の復権を目指した2回目の意見交換会の

計画と決意は。瀬戸内地方の共通している「航路の維持・創設、海を生かした観光振興、高速通信網の活用、瀬戸内海の環境保全」の4つの課題を提案しており一層の振興を図ると共同宣言を採択している。その後の点検はできているのか。

答弁 3年前の瀬戸内海の復権の意見交換会は意義があった。
2回目の意見交換会

は航路の振興に国庫負担を導入できる点に議論が集約できているので、自治体で、自治体トップを集めて、国土交通省に要請する。4つの提案をする中、その後、小豆島は神戸と坂手間の定期フェリー航路が復活をし、

海を生かした観光も芸術祭を中心にクルージングとか1歩2歩も前進している。
高速通信網の活用で光ファイバー網の整備、アーティストやIT関連、医療水準の向上や、瀬戸内海環境保全特別措置法40周年シンポジウムが開催される。



平成22年10月に開催された「瀬戸内海の復権」意見交換会



森 崇 議員

公共交通を守ろう。 島民が株主の小豆島

町「オリーブバスは、 島民の皆さんと守りたい」

も出資し株主だ。町の
決意は。

質問 3年前、高知県
に視察に行ったが路線
バスを守るため生活路
線・観光路線とも補助
制度がある。

路線図を見ると人間
の血管のようで生活と
観光の色分けはない。
小豆島は観光地で地元
の利用者と観光客で乗
車密度を上げてきた。
県の補助対象も見直
すべきだと思う。島民

答弁 海の交通、陸の
交通の両面を守ること
は絶対条件だと思っ
た。しかし環境は生易しく
なく色々な意見がある。
責任の所在は不可欠。
緊急避難的な対策を行
いながら結論を得たい。
皆さんももっとバスを
利用してください。



高知県の路線図。人間の血管のようです。

幼稚園や学校などの安全性について

町「緊急度の高いものから改修、修繕を実施する」

子どもや先生、保護
者が危険なことに出合
わない設備を確保すべ
きだ。

質問 3幼稚園や小学
校、中学校施設を見る
機会が増え、子どもた
ちや先生の努力が見え
て良いと思う。しかし
学校設備について先生
が「辛抱しすぎている
面もあった」

答弁 幼稚園は6園・
8棟。小・中学校は6
校19棟ある。改善の緊

急度が高いものから改
修、修繕を実施してい
く。補正予算措置を含
め、できるかぎり迅速
に対応し、安全を最優
先に考え、維持管理に
努める。



大川 新也 議員

新内海ダム 総事業費は 町「全体として63億円縮減の 122億円となる」

皆様に感謝申し上げた
い。総事業費は、当初
算定より資材単価低
下、本体工事入札請負
差金、施行量の減少等
で大きく縮減できた。
・本体、周辺整備

- ・測量・設計等 約70億円
- ・用地買収 約17億円
- ・附帯道路工事等 約16億円
- ・事務諸経費等 約14億円
- 約5億円



竣工した新内海ダム

63億円が縮減となる見
通しである。町として
も当初より3億円の負
担軽減となる見通しで
ある。早急に町民に公
表したい。

瀬戸芸「小豆島、まだ夏会期」とは

町「実行委員会の了解を得て、
閉幕中でも作品公開をしている」

質問 瀬戸芸夏会期も
多くの人が訪れ、賑わ
いの中閉幕したが、「小
豆島、まだ夏会期」と
して作品公開は継続す
るとあるが、この決定
はどの段階で決めるの
か。議会には相談はな
かったと思うが、また、
公開に係る費用、職員
への負担は。

答弁 作品公開は、実
行委員会の了解を得
た。費用に関しては、
予算議決を得ている。
職員も増員し、負担の
ないよう配慮してい
る。

小豆島町 中学生議会

「町長・教育長に質問！」

10月7日、内海中学校の生徒17人による、中学生議会が開かれ、町政に対する質問を行いました。



りな
森 利菜 議員



介護する人を増やすための対策は。

答弁 町では介護福祉士や看護師になりたい方に修学資金の貸付を行っており、将来町内の施設に就職した場合は、貸したお金を返さなくてもいい制度を作っています。

しゅんや
高木 駿弥 議員



新しい高齢者施設を作る計画はありますか。

答弁 施設を作るよりも、住み慣れた地域で元気に過ごすことができる社会の仕組みを作ることが大切と考えています。

ねいか
須佐美寧加 議員



少子化を防ぐ対策は。

答弁 子育てに係る費用負担を少しでも軽くするため、奨学資金貸付を月3万円から5万円に拡大したり、男女の出会いの機会を作ったりするなど、様々な対策を行っています。

ゆうか
出水 優花 議員



子どものための新しい公園や児童館はできませんか。

答弁 今の所建設予定はありませんが、自治会からの要望で広場に遊具を設置するための費用の一部を補助する制度（最大50万円）を始めました。

いっせい
植田 忝成 議員



障害者に対して町はどのような対応をしていますか。

答弁 障害者の親が亡くなった後の対応ができるグループホームを二面地区に開設しようと準備しています。

ほだか
田村 帆高 議員



新しい高校への通学手段についてはどのように考えていますか。

答弁 自転車通学者の安全、定期バスの利便性を図ることを最優先に考え、皆さんの負担が少しでも軽くなるよう考えています。

あきら
坂下 輝 議員



統合した「小豆島中学校」はどのような学校を目指すのですか。

答弁 生きる力を身につけ、ふるさと小豆島を愛し、夢の実現に向かって努力する生徒の育成を目指していきます。

かつや
川西 克弥 議員



人口減少対策は。

答弁 島には知られていない魅力がたくさんあります。芸術祭アーティストの協力も得て、地場産品のレベルアップを図っていきます。減少に歯止めはかからなくても、減り方をゆるやかにしたい。

なつき
森本 夏生 議員



小豆島に若者が働ける場所を増やす対策は。

答弁 地場産業活性化セミナーを開催し、製品のデザインなどの情報提供を行い、特許取得に対する経費の一部補助などを行っています。

ゆうと
山本 優人 議員



これから開発されるオリーブ商品は。

答弁 家具の仕上げ剤としてオリーブオイルを塗った「オリーブ家具」や樹の硬さを生かした「オリーブ備長炭」などがあります。

あかね
北潟あかね 議員



小豆島のオリーブを全国に広めるための取り組みは。

答弁 品質や多角的な利用について世界一を目指しています。オリーブを広めるために、全国主要女子マラソン大会の優勝者にオリーブの冠を贈る取り組みを進めています。

ひろのり
長谷川大矩 議員



芸術祭の開催によって、観光客はどのくらい増えたのか。

答弁 夏会期終了時ですすでに前年を超え、観光客は前年とくらべ9.4%増、人数にして約51,000人増えています。

あいり
三木 愛利 議員



芸術祭をやってみて良かった点は。

答弁 大勢の人がみに来て、それぞれが満足してくれています。作家の人と地元の人との交流が新たなまちづくりの動きとなってきています。

りく
野島 陸 議員



若者の島外流出を防ぐための考えは。

答弁 若い人には一度は島外に出てもらったらいが今は若者の価値観も少し変わってきており、島での暮らしの良さが見直されています。

しょうよう
福井 章耀 議員



南海地震への対策は。

答弁 ハザードマップの作成を行っていますが、大事なのは家族で話し合っ、もしもの時の行動を考えてほしい。

こうた
高橋 滉太 議員



異常気象の中、大きな災害が起きないような対策は。

答弁 災害が起きた時の適切な対処方法を知っておくなどの啓発を行っています。

わかな
久松和香奈 議員



ゴミを少なくする対策は。

答弁 製品を捨てずに再使用するリユース、資源ごみを再製品化するリサイクル、ゴミの発生を抑えるリデュースという3Rの考え方に基づいて、ゴミを少なくする対策を考えています。



「災害のない元気な地区をめざして」

大谷 隆生
(二面自治会会長)

小豆島町二面地区は人口約400人、世帯数約180世帯、面積約3.8キロ平方メートルで、池田湾に面した二面本地区と、内海湾に面した東浦地区(石場、牛が浦、長崎)の集落をもって構成された自治会です。住民の半数以上は年金で暮らし、他は兼業農家で専業農家は5戸で主に「電照菊」と「米」を作っています。当地区で自慢できるものは、誓願寺の蘇鉄です。大正13年に国より天然記念物に指定された、雌株1本で、樹齢約500年以上、樹高約7.5メートル、根元の周囲約8.1メートルで日本全国に誇れる大蘇鉄です。



誓願寺の大蘇鉄

昨今の温暖化で、スリップスという蘇鉄につく害虫が国

内に入り被害が発生していますが、幸い被害もなく立派に育っています。私達はいつまでも後世に残すよう努力をしてゆきたいと思っています。また、誓願寺の西方の妙見宮には、古墳が存在し、長崎地区には猪垣、石場地区には大坂城築城の残石があります。



長崎の猪垣

人物では、江戸時代の大坂大相撲で大関を務めた「男山梶之助」という関取がいたそうです。言い伝えによりますと、この関取の化粧回しの「舞鶴」が今も二面の太鼓台の天井に飾られています。

当地区には、溜池が4カ所あり貯水量約3万立方メートルの水を蓄え、そのうちの1つ「化池」は、昔失恋した娘が投身自殺したと伝えられ今も「お化け」が出ると伝えられています。

今後、少子高齢化と過疎化の進むなか瀬戸内国際芸術祭を捉え、どのようにすれば地域の活性化ができるのか。また、近い将来予想される東南海地震で起こりうる被害軽減をどう対応してゆかないか知恵が浮かびませんが、関係機関のご支援をいただき災害の少ない元気な地区になりたいと願っております。

練習は厳しいですが、島内外の試合に出場し、剣道を通じ、多くの仲間や友達を作っています。また、レ

「心」心の強さ
「技」技の習得
「体」体をつくる
を鍛えるため厳しい練習をしています。

事、道具を大切に
する、しっかり話を聞き理解する、
厳しい練習に耐え
集中力と忍耐力を
養う、といった

池田剣道スポーツ少年団は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道」を理念に、6名の指導者のもと1・3・5・6年生の12名の団員が水・金・土の週3日活動しています。剣道を通して、道場に入りするときの挨拶や相手への挨拶、靴を揃える、言われたことに対しての返事、道具を大切に



池田剣道
スポーツ少年団



クリエーションなどの楽しい会もあります。

そんな池田剣道スポーツ少年団では、一緒に剣道をする仲間を募集しています。興味を持たれた方は、修道館まで気軽に見学に来て下さい。

【連絡先】
事務局代表 川本真理子
☎75-2686】



編集後記

秋の瀬戸内国際芸術祭が始まりました。小豆島は観光客が多く訪れ、特に若い人が目立ちます。

瀬戸内海全体の島で幅広く行われており、他の島に行っただがバスもなく歩かざるを得ず「遠い所は行かなかつた」と言う方もおられ、これが実態だと思えます。

小豆島の景色は抜群で住んでみたいという若者に出会いますが、少子高齢化、人口減少という現実を無視することも出来ません。

病院や高校の統合に向かっている小豆島の将来を考えると歓迎だけではなく職場や就職先のことを考えてしまいます。

私たち議員は皆様の代表として地域に少しでも貢献して住みよい町づくりをしなければなりません。ご意見を頂きました。ありがとうございます。